



民主党・無所属議員団

# 大阪府豊中市・京都府京都市 視察報告書

平成26年4月21日～22日

視察項目 コミュニティソーシャルワーカー  
施設の複合化（豊中市）  
HAPS（京都市）



# 1.コミュニティソーシャルワーカー（CSW）について

## ■コミュニティソーシャルワーカーとは？

大阪府の地域福祉支援計画に基づき、地域でのセーフティネットの体制作りなど地域福祉推進の新たな担い手として豊中市社会福祉協議会に14人のコミュニティソーシャルワーカーが配置されている。制度の狭間の問題など個別の課題に対応し、地域の課題として共有する場を設け、課題提起し新たな支援方を検討している。



## ■CSWの役割

個別支援から地域支援へ。個別事例を通じて町の課題を把握し、新たな協働や仕組みで解決の取り組みを展開している。

### <具体的なプロジェクト>

- ・福祉ゴミ処理プロジェクト
- ・徘徊SOSメールプロジェクト
- ・若い家族介護者の交流会
- ・集合住宅活性化プロジェクト
- ・広汎性発達障害者の家族交流会・豊中びーのびーのプロジェクト



## ■福祉なんでも相談窓口

豊中市と豊中市社会福祉協議会が協働で、小学校校区単位に設置している身近な相談窓口である。

ただ相談を待っているのではなく、掘り起こしをしていくことを主眼においている。相談員は地域福祉を知り尽くしてる民生・児童委員や研修を受けた校区福祉委員などが務めている。なお、相談員において、解決が難しいケースはCSWと一緒に相談に応じる体制となっている。



## 2.施設の複合化（千里文化センター・コラボ）について

### ■千里文化センターコラボとは？

大阪府豊中市新千里東町に立地する複合公共施設で、愛称が「コラボ」と呼ばれている。センターは、新千里出張所、千里老人福祉センター、千里保健センター、千里図書館、千里公民館、千里文化センターからなり、延べ床面積は9,394平方メートルに及ぶ。

なおセンターの管理・運営は市民生活部千里文化センターが行っている。

なお、1階は阪急バスのバススターミナルとなっており、駅からも近く便利な立地となっている。



### ■市民運営会議

千里文化センター市民運営会議が施設の活用方法について検討を重ね、コラボの将来像や今後の事業の方向などを定め、「千里文化センター市民実行委員会」が2011年に発足し施設運営や連携事業などについて議論を重ねている。

#### <主な取り組み>

- ・ コラボ交流カフェ
- ・ テーマ型交流カフェ
- ・ コラボ談話室
- ・ 住まいの相談
- ・ 親族後見よろず相談会
- ・ 外国人向けイベントプロジェクト
- ・ ボランティア応援コーナー
- ・ つながるサロン
- ・ コラボ大学校
- ・ ラウンドテーブル（コラボ地域懇談会）
- ・ 哲学カフェ
- ・ 屋上庭園

なお、コラボ新聞を発行し情報伝達と交流の活性化を図る取り組みをしている。



## 3. HAPS（東山アーティスト・プレイスメント・サービス）について

### ■HAPSとは？

この困難な時代に生きる芸術家たちを支えること。それは、「美術」という一つのジャンルを守るのではなく、私たちの社会全体の豊かさを維持し、さらに新しい可能性を開いていくことに繋がります。HAPSは、個人の生き方と社会のあり方を組み替え、文化芸術が最大限のポテンシャルを発揮できる環境を京都市に作り出すことを、その目標としています。



### ■HAPSのミッション

- ①芸術家支援：京都在住の芸術家たちの居住・制作・発表を包括的に支援する
- ②地域創造：芸術家たちの創造性を京都市の活力へと繋ぐ
- ③ネットワーク形成：国内外の芸術機関と多様な協力体制を構築する
- ④イノベーション活動：新たな芸術のあり方と新たな社会のあり方を共に探求する



### ■HAPSの主な事業

#### ○相談窓口

京都市内で活動するアーティストとともに、彼ら/彼女らを支える人からの各種相談を随時受け付けている。

#### ○物件マッチング

京都市で活動をしていくアーティスト向けに、大家さんや不動産業者から寄せられた物件を紹介するマッチング事業をおこなっている。



自分で改装してオリジナルの家になりたい、大きな音を出してもよい環境が欲しい、土間のある場所で制作したい等、アーティストの希望はまちまち。その一方で、家の一部を余らせていたり、ボロボロになって借り手が見つからずどうしようもないと困っている大家さんが増えている現状もあります。それぞれの情報を集約し、双方の希望を聞きながら契約までをコーディネートしている。